

一、旧制高等学校

◆戦前における学校制度

戦後の日本における学校制度は、一九四七（昭和二二）年に制定された教育基本法と学校教育法に基づくもので、小学校・中学校・高等学校・大学の各修業年限にちなんで六・三・三・四制と呼ばれる学校制度になっています。この学校制度では、初等教育段階を小学校が、中等教育段階を中学校と高等学校が、また高等教育段階をおもに大学が担うことになっており、初等・中等・高等の三つの教育段階は明確に区分されています。

これに対して戦前の学校制度は、これら三つの教育段階は今日のように明確には区分されていませんでした。たとえば戦前教育制度の拡充期とされる大正期の学校制度体系（一九一九年）を例にみると、尋常小学校（六年）が初等教育に相当し、尋常小学校より上の段階（中学校・高等女学校・実業学校など）が中等教育を担い、また高等学校・専門学校や大学が高等教育を担うという形になっていました（図1参照）。

◆ 高等学校

戦前の学校制度では、初等・中等・高等の各段階の学校がそれぞれ個別の勅令によって規定され、とても複雑な制度になっていた。たとえば一八八六（明治一九）年に公布された中学校令では中学校は尋常中学校と高等中学校の二種に分けられ、高等学校は全国（北海道と沖縄を除く）を五区に分けた各区に官立学校として一校が設けられました。第一（東京）、第二（仙台）、第三（京都）、

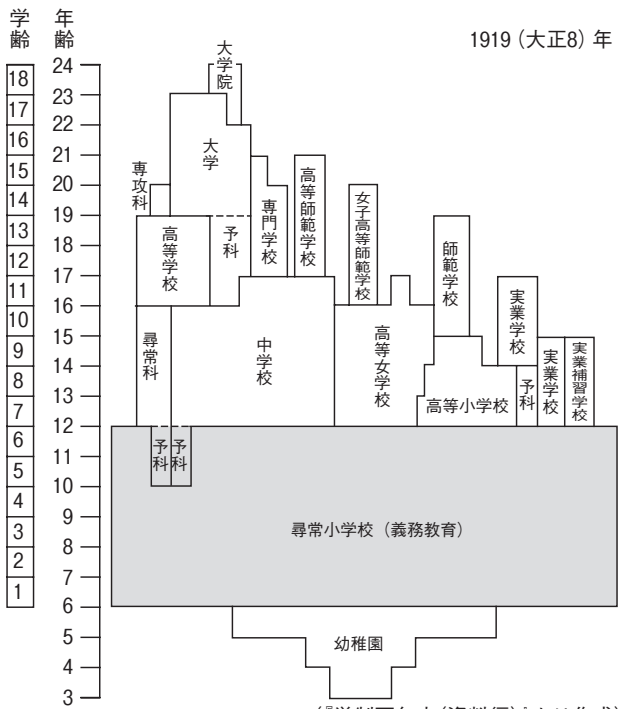


図1 1919 (大正8) 年の学校系統図 (抜粋)

第四（金沢）、第五（熊本）の各高等中学校（カッコ内は各校の所在地名）がそれにあたります。

この高等中学校は、農業・工業・商業等の各分野における指導者養成のための実務教育を行うとともに、高等段階の教育を受けるために必要とされた基礎教育を行うという二つの目的をもつ学校として設置されたものでした。

◆高等学校と大学予科

しかし、実際の高等中学校では必ずしもその設置目的の通りにはなりません。現実には高等中学校における実務教育が次第に衰退し、帝国大学進学のための予備教育機関としての性格が強くなったのです。その後、一八九四（明治二七）年には高等学校令が公布され、この勅令によって高等中学校が高等学校に改称されて制度上独立することになりました。

高等学校令（一八九四年勅令第七五号）

第一条 第一高等中学校、第二高等中学校、第三高等中学校、第四高等中学校及第五高等中学校ヲ高等学校ト改称ス

第二条 高等学校ハ専門学科ヲ教授スル所トス但帝国大学ニ入学スル者ノ為予科ヲ設クルコ

トヲ得

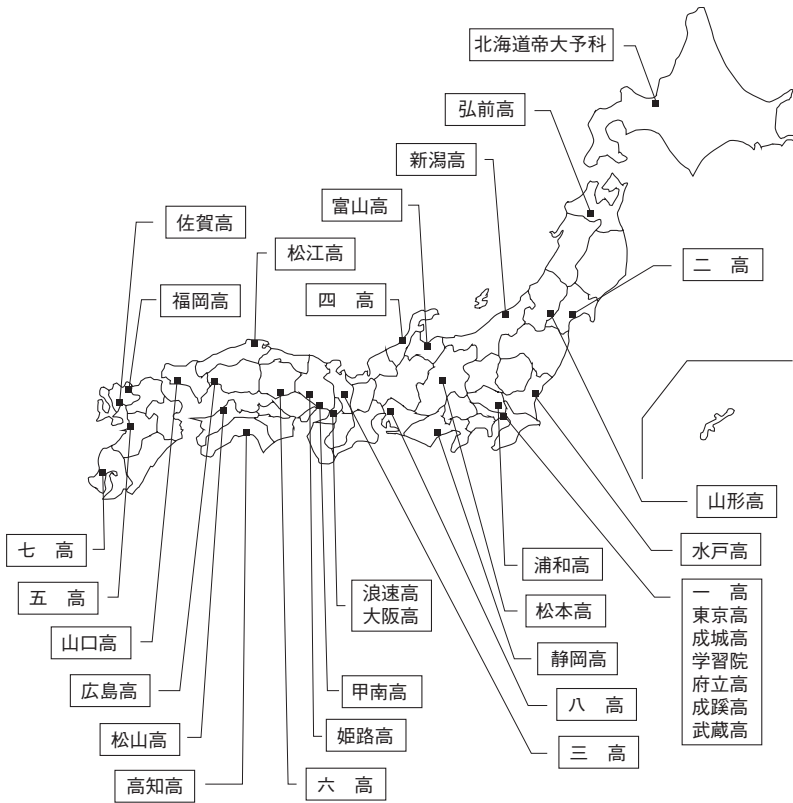
右の条文からもわかるように、高等学校には専門学科を教授する専門部（四年）と帝国大学進学者のための大学予科（三年）が設けられました。これは、当時の欧米の地方大学制度を参考にしたものと考えられています。ただし、新たな高等学校の基本的な性格は高等中学校の時代とあまり変わらず、期待どおりに専門部が発展することはありませんでした。

なお、大学予科については、法科大学・文科大学の志望者向けの第一部、工科大学・理科大学・農科大学の志望者向けの第二部、医科大学志望者向けの第三部に分けて予備教育が行われるようになりました。

◆全国三八校のエリート養成学校

以上、旧制高等学校の成立経緯や性格について、ごく簡単に述べました。ところで、戦前期の旧制高校の数についてはいくつかの数え方があります。

本書では旧制高等学校資料保存会の考え方に基づいて帝国大学に直接的に結びついていた三八校としておきます（図2参照）。



※上記以外に戦前期日本統治下の台湾、朝鮮、関東州に、台北高、京城帝大予科、旅順高、台北帝大予科が設置されていた（設置年順）。

図2 旧制高等学校分布図

◆新高等学校令による制度改革

一九一八（大正七）年一二月、臨時教育會議（一九一七年設置、内閣直属の諮問機関）の答申に基づいて、高等学校令（勅令第三八九号）が新たに制定されました。臨時教育會議は、第一次世界大戦後における近代教育制度全体におよぶ抜本的な改革の道すじを示しましたが、とりわけ明治期以降「多年ノ懸案ニシテ緊急ノ解決ヲ要スルモノ」とされた高等学校の制度改革についても節目となるような答申を行いました。

臨時教育會議の答申をうけて制定された新高等学校令では、高等学校の目的が男子の高等普通教育を完成することとされ、その設置形態は官立・公立・私立のいずれかによるものとなりました。また、修業年限は尋常科四年・高等科三年の七年制が原則とされ、例外的に高等科のみを設置することもできるとされました。さらに、特別の必要がある場合は七年制高等学校に予科を置くことが認められました。

なお、この新高等学校令に基づいて、第八高等学校を含むいわゆるナンバーズクールは高等科のみを設置する高等学校となりました。